



## 消防のお願いします

### 救急車は現場へ要請を！

「今から消防署に行くので救急車をお願いします」と消防署に電話をかけ、自分の車で消防署まで来てから、救急車で病院へ搬送される方がいます。しかし、消防署に到着するまでの間に、別の救急や火災などが発生した場合は、そちらへの出動が優先されてしまいます。

そのため、消防署まで来ても「救急車がない」「救急車はあるが署員が出動して不在」という場合もあります。そうすると、他の消防署から救急車がかけつけるまで、その場で待つか、自分の車で病院へ行ってしまうことになると思います。

また、自分で消防署に来る場合には、傷病者を自宅などから車へ、車

火のしまつ 君がしなくて 誰がする

から救急車へと移動させるため、過度の負担を与えてしまうことや、車の振動などで容態を悪化させてしまうこともあります。

容態の悪化を避けるため、傷病者をしてできるだけ安静にし、現場に救急車を要請されまよう、ご理解とご協力をお願いします。



## 消防の俺に聞け!

Q 自宅で簡単にできる防火のコツを教えてください。

A 全国的に、建物火災の出火原因のトップは「放火または放火の疑い」

で、以下「こんろ」「たばこ」「ストーブ」などが上位を占めています。次にご紹介する出火原因別の注意点を参考にして、火災予防にご協力ください。

### 1 放火または放火の疑い

- ・新聞、雑誌などの燃えやすいものを家の周囲に置かない。
- ・車庫、物置などの戸締りをしっかりと行う。



### 2 ガスこんろ

- ・天ぷらを揚げているときは、その場を離れない。
- ・就寝前や外出前に元栓を締める。
- ・使用しないときは、チャイルドロックをする。

### 3 たばこ

- ・灰皿に水を入れておく。
- ・吸い殻を捨てるときは、ゴミ箱に直接捨てずに水の入った金属性の容器に入れる。



・寝たばこはしない。

### 4 ストーブ

- ・カーテンなどの燃えやすいものから離す。
- ・上面や前面に洗濯物を干さない。



- ・就寝時や外出時に消火する。
- ・給油するときは、ストーブの火を消して少し時間をおいてから給油する。

・誤って給油しないため、灯油は専用のポリ容器に入れ、ガソリンは金属製の携行缶に入れる。

### 住宅防火 いのちを守るポイント

#### 4つの対策

- ① 逃げ遅れを防ぐために、**住宅用火災警報器**を設置する。
- ② 寝具、衣類、カーテンは**防災品**を使用する。
- ③ 火災を小さいうちに消すために、**住宅用消火器**などを設置する。
- ④ お年寄りや身体の不自由な人を守るために、**隣近所の協力体制**をつくる。

